

Dark Triad と虚言行動の関連について

○平山 理彩・首藤 祐介
(広島国際大学心理学部)

序論

Dark Triad とはパーソナリティのうちの反社会的な特性であり、マキャベリアニズム、サイコパシー傾向、自己愛傾向により構成される。

マキャベリアニズムは他者操作的な特性であり、虚言との関連が示されている(古屋,1991)。一方、本邦では、他の2特性と虚言の検討は十分行われていない。しかし、共感性、罪悪感のなさを特徴とするサイコパシー傾向は暴力的な犯罪だけではなく詐欺のような虚言の関連する狡猾な犯罪との関係が指摘されており(宮川, 2015)、高すぎる自己評価を特徴とする自己愛傾向は虚栄に基づく虚言を行うことがある。

そこで、本研究では、Dark Triad が虚言刺激文に対する態度に与える影響を検討する。

方法

対象者：大学生 202 名 (男性 128 名, 女性 74 名, 平均年齢 19.48 歳, SD=1.12) を対象に質問紙調査を実施した。

質問票：Dark Triad を測定する The Japanese Version of the Short Dark Triad (SD3-J; 下司・小塩, 2017) を用い 5 件法で評定を求めた。虚言評定を測定する為に、古屋 (1991) の研究で用いられた 20 の嘘の刺激場面を用い、「あなたはこの文章に書かれているような嘘をつくと思いますか」という質問に対して、「嘘をつかないと思う」から「嘘をつくと思う」の 5 件法で評定を求めた。

結果と考察

刺激場面に対する虚言評定に基づきウォード法による階層的クラスター分析を行なった。分析の結果解釈可能な 6 つのクラスターが得られた。含まれた内容から各クラスターを「自己利益獲得の為の嘘」「他者配慮の嘘」「弱者配慮の嘘」「偽りの状況説明の嘘」「偽りの自己呈示の嘘」「能動的操作の嘘」と命名した。

Table 1. 重回帰分析結果

変数名	自己利益 獲得の為 の嘘	他者 配慮 の嘘	弱者 配慮 の嘘	偽りの 状況説 明の嘘	偽りの 自己呈 示の嘘	能動的 操作 の嘘
マキャベリアニズム	.268 **	.350 **	.103	.059	-.101	.092
自己愛傾向	-.028	-.113	.002	.079	.165 *	-.053
サイコパシー傾向	-.041	-.178 *	.141	-.066	.237 **	.032
R ²	.064 **	.125 **	.041 *	.009	.109 **	.010

** $p < .01$, * $p < .05$, + $p < .10$

Dark Triad が虚言行動に与える影響を検討するため重回帰分析を行なった(Table 1)。

古屋 (1991)は、マキャベリアニズムと「受動防衛の為の嘘」、「能動的操作の為の嘘」の関連を指摘した。一方、本研究では「能動的操作の嘘」への影響は見られなかったが、先行研究の「受動防衛の為の嘘」に一部該当する「自己利益獲得の為の嘘」、および「他者配慮の嘘」への影響が認められた。先行研究を一部支持する結果と言える。この差異については今後検討の必要がある。「自己利益獲得の為の嘘」、「他者配慮の嘘」への影響については目的の為ならば手段を選ばない特徴が影響したと考えられる。また、他者操作の特徴から調査者の印象を操作する意図があった可能性が示唆される。

他の2特性が虚言に与える影響を検討した結果、自己愛傾向は「偽りの自己呈示の嘘」に影響を与えていた。この傾向は自己顕示欲の強さと高すぎる自己評価が特徴だが、他者から良く見られたいためにこの種類の嘘をつくと考えられる。

サイコパシー傾向は「他者配慮の嘘」に負の、「偽りの自己呈示の嘘」に正の影響を与えていた。サイコパシー傾向の特徴である共感性のなさが、他者に配慮するための嘘を用いない冷淡さをもたらしたと言える。また、この傾向を持つものは表面的魅力を特徴とするが(Cleckley, 1976)、この魅力が自身を偽り見せる嘘により作られる可能性が示唆された。

引用文献

- Cleckley, H. (1976). The mask of sanity. 5th ed. St. Louis, MO: Mosby.
- 古屋 健 (1991). 虚言行動に及ぼす個人特性の効果 社会心理学研究, 6, 165-174.
- 宮川 充司 (2015). DSM-5 による反社会性パーソナリティ障害・素行障害とサイコパス 椋山 女学園大学教育学部紀要, 8, 47-58.
- 下司 忠大・小塩 真司 (2017). 日本語版 Short Dark Triad (SD3-J) の作成, パーソナリティ研究, 26, 1.